

# 低コストで効率的な施業の推進に向けて

～列状間伐施業の推進～

十勝西部森林管理署東大雪支署

## 【現状・課題・目的】

### 列状間伐への課題

十勝管内の私有林では、

- 選木をしない間伐による優良木生産への懸念
- 風倒被害への懸念。

など、森林所有者等の不安があり、列状間伐の普及が課題とっているため、列状間伐への理解が定着することを目的に取り組んでいる。

## 【これまでの取り組みや成果】

平成26年度より十勝3（支）署で「列状間伐施業の推進」に取り組み、道有林の列状間伐箇所での意見交換、実行管理推進チーム会議で情報共有、振興局主催の現地検討会で情報提供するなどした結果、道有林で2回目列状間伐と一部の自治体で列状間伐が実施され始めました。



## 【平成29年度の取組結果・成果】

### ①コストの見える化

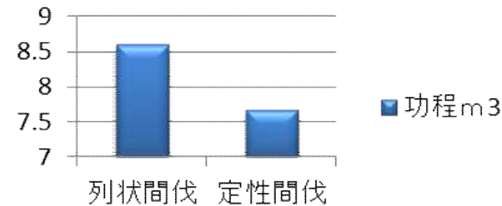
・請負生産事業を実施している事業体へ、工程管理プログラムの概要、データ収集の目的を説明し理解を得るとともに、請負事業における工程管理やコストを意識した事業を実施してもらうことができました。

・請負生産事業終了後、工程管理プログラムを用い定性間伐と列状間伐ごとの入力結果に基づくデータ比較を行った。

事業地の概要等

伐採方法	面積	樹種	間伐率	林地傾斜	平均集材距離
列状	55.74ha	トド・エゾ・アカエゾマツ	25%	21度	434m
定性	90.35ha	カラマツ	25%	20度	1101m

功程m<sup>3</sup>(1人1日当たり)



・比較した結果、列状間伐の功程が定性間伐の功程より高く、効率的な作業実施が可能となっています。

・傾斜、面積など林地条件ごとのデータを整理すると共に、工程管理のポイントや列状間伐の作業工程などの見える化に向けて、継続してデータの蓄積行っています。

### ②情報の共有

実行管理推進チーム会議で情報を共有し、振興局主催の現地検討会に参画するとともに、列状間伐作業後の現地で、私有林関係者に列状間伐の作業イメージやメリット、実施した作業システム等の技術情報を説明し、列状間伐への理解と普及を図りました。



## 【今後の取り組みで目指すところ】

今後の製品生産請負事業等において、工程管理プログラムを用いたデータ収集や分析を行い、コスト等の見える化に取り組み、工程の改善事例などの蓄積を行うことにより、**功程やコスト面からみた列状間伐のメリットを探り、列状間伐への理解と普及を図っていく。**

## 【今後の目標】

**低コストで効率的な施業の私有林への普及を目指します。**

- ・ 功程・コスト面からみた列状間伐への理解と普及
- ・ 高性能林業機械を使用した列状間伐施業の推進